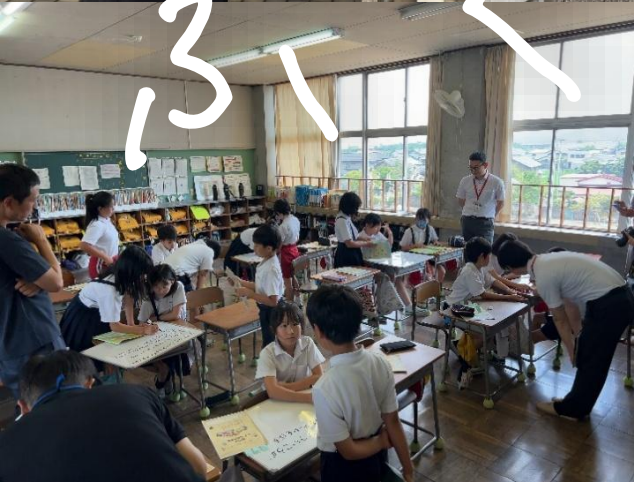




総合計画 レポート 2025

第八次福井市総合計画
令和7年度成果報告書



市長メッセージ



福井市長の西行 茂です。

令和8年2月、本市は、平成18年の合併から20年という大きな節目を迎えました。この20年という歳月の中で、本市は多くの挑戦を積み重ねるとともに、市民の皆さまの日々の努力により、着実な発展を遂げてきました。

そして今、北陸新幹線福井開業を契機に、産業や観光、交流人口の拡大など、まちの活力はこれまで以上に高まっています。

このたび、第八次福井市総合計画の進捗や令和7年度の実績成果をまとめた「総合計画レポート2025」を作成いたしました。

これまで積み重ねてきた数々の取組と、市民の皆さまとともに築いてきた歩みを確かなものとし、将来都市像の実現に向け、新たな挑戦を恐れず全身全霊で取り組んでまいります。

福井市長 西行 茂



将来都市像

みんなが輝く 全国に誇れる ふくい

CONTENTS

01

続く!!
北陸新幹線福井開業の効果
・・・P4～

02

トピックス ・・・P5～

03

主な取組実績
(政策別) ・・・P7～

04

数値目標の
達成状況 ・・・P27

05

市民アンケート
結果 ・・・P28

06

令和7年度
プレイバック ・・・P29

「総合計画レポート」とは・・・

- ・ 福井市では、市政運営の基本となる「総合計画」を策定し、計画的な市政運営を進めています。
- ・ 取組成果を市民の皆さまに分かりやすくお伝えする（総合計画に掲げる取組成果を「見える化」する）ため、年度毎に「総合計画レポート」を作成しています。

北陸新幹線福井開業の効果

／続く！！

県内外国人宿泊者数

初の10万人超・過去最多

令和7年 **11万人**

約**1.7倍**

令和5年 6.4万人

出典：観光庁 宿泊旅行統計調査
(R7：速報値、R5：確定値)

地価

平均変動率が4年連続で上昇

令和7年 **109,100円/m²**
(福井市商業地平均価格)

平均変動率**1.4%**
(前年比)

令和5年 102,900円/m²

出典：福井県地価調査

転入者数

令和以降で社会減最少更新

令和7年 **7,737人**

241人増

令和5年 7,496人

出典：福井市統計書

市内観光消費額

2年連続で300億超

令和7年 **321億円**

40億円増

令和5年 281億円

出典：福井市調べ
(R7：見込値、R5：実績値)

主観的幸福度

2年連続で1桁順位

令和7年 **8位**
(福井県)

11位上昇

令和5年 19位

出典：ブランド総合研究所「幸福度調査2026」

トピックス①

福井市こども未来条例スタート！

市、保護者、地域住民、学校、事業者等が同じ理想を共有し、共に手を携えてこどもの成長を応援することで、「こどもの未来が輝くまち」の実現を目指す「福井市こども未来条例」を、4月から施行しました。

また、本条例の理念を広く周知するとともに、「こどもの未来が輝くまち」の実現に向けて、こどもの意見を聴くワークショップ等を開催し、集まった意見を本条例の周知パンフレットなどに反映しました。



▲福井市こども未来条例ポスター
大人向け（左）とこども向け
*市内の児童や専門学生と協力し製作

福井米購入応援「まんぷく券」配付

米価高騰が長引く中、子育て・シニア（高齢者のみ）世帯に対し、福井米の購入に使用できる「まんぷく券」5,000円（ひとり親世帯等は8,000円）分を配付しました。

米の消費を促して米離れを防ぎ、米生産者を応援するとともに、物価高騰の影響を強く受ける世帯の家計負担の軽減を図りました。



▲「まんぷく券」利用案内ポスター

Z世代×福井市 「クリエイティブプロジェクト」スタート

※チャレンジ
みらい予算

6月から「クリエイティブプロジェクト」をスタートさせ、Z世代の若者42名を市の7所属に配属し、職員や市民団体などと連携・協力しながら様々な事業に取り組みました。

また、2月14日（土）には「成果発表会」を開催し、約150人の来場者に対して今年度の活動成果を発表しました。

※若手職員の柔軟なアイディアに基づく事業の実施により、市民生活向上や地域活性化を目指す取組



▲新婚夫婦への取材の様子 ▲就農体験の取材の様子



▲成果発表会の様子

大阪・関西万博で福井の魅力をPR

世界から注目を集めた大阪・関西万博の関西パビリオンにおいて、7月10日（木）、11日（金）の2日間にわたり福井市のPRを行いました。

一乗谷朝倉氏遺跡の唐門をイメージしたフォトスポットの設置や福いいネ！くんによるグリーティングなどを行い、多くの来場者に楽しみながら本市の魅力を知っていただきました。



▲福井市PRブースの様子

トピックス②

「住みよさランキング2025」全国総合1位！

東洋経済新報社が公表した「住みよさランキング2025」において、全国812市区の中で福井市が2006年以来の全国総合第1位となりました。
※昨年は全国総合第2位

市民の皆様へ、”もっと”「ふくいは楽しい！ふくいは安心！ふくいは元気！」を実感していただけるよう、市職員一丸となって取り組んでいきます。



▲福井市の総合順位変動（2018～2025年）

「昭和100年」福井の歩みをPR

10月2日（木）に首相官邸で開催された「昭和100年」関連施策関係府省連絡会議で、地方公共団体を代表して、西行市長が本市の取組を紹介しました。昭和の歩みを振り返り、先人から受け継いだ福井のまちを次世代に引き継ぐ決意を述べました。



▲本市の取組を発表する西行市長（上）と、「昭和100年」関連施策のロゴデザイン

北陸初開催！「中核市サミット2025in福井」

10月30日（木）、31日（金）に全国62市の中核市市長が一堂に会して都市共通の課題について議論を深める「中核市サミット」を本市で開催し、過去最大規模となる550名の各市代表者や市議会議員等に参加いただきました。

サミットでは「幸福を実感できる中核市の実現」を目指して、「中核市サミット 福井宣言2025」が採択されました。



▲開催の様子

スロベニア共和国クラン市と姉妹都市協定締結

9月22日（月）に、ホストタウン交流をきっかけに友好関係を築いてきたスロベニア共和国クラン市と、本市としては欧州で初となる姉妹都市協定を締結しました。

締結式では、両市長が協力関係を一層強化していくことを確認しました。



▲署名した姉妹都市協定書を手に記念撮影するラコヴェツ クラン市長(左)と西行市長

施策①北陸新幹線の早期全線開業を目指す

早期全線開業を目指して国土交通大臣に要望書を提出

北陸新幹線の早期全線開業を目指し、福井市北陸新幹線建設促進協議会（会長：福井市長）は、7月29日（火）に国土交通大臣に対し要望書を提出しました。



▲国土交通省への要望

施策②公共交通の利用を促進する

デジタル企画切符で公共交通の利用促進

フェニックスプラザなどで開催されるコンサートや、連携市町で開催されるイベントとコラボしたデジタル企画切符をふくいMaaSアプリで販売し、令和6年度と比較して交通関係の切符の売上金額は約3倍に増加しました。

また、福井ブローウィングスのホームゲームでは、バスで来場した人にオリジナルの選手カードを配る取組を行い、自動車利用からの転換を図りました。



▲ふくいMaaSアプリ（左）とオリジナルの選手カード

施策③ICTを活用して公共交通の利便性を高める

ふくいMaaSアプリのPR活動を強化

5月には大阪・関西万博でのパネルディスカッション、10月には幕張メッセで開催されたCEATEC2025地方創生パビリオン、11月には仙台市で開催されたTOHOKU DX GATEWAYに出展するなど、PR活動を行いました。

ふくいMaaSアプリが提供されている「ふくアプリ」の会員数は20万人を突破しました。



▲万博でのパネルディスカッション

施策④地域拠点の機能充実を図り、公共交通利用者の利便性向上を図る

清水地区でオンデマンド交通の実証運行を実施

清水地区は路線バスや乗合タクシーなど多様な交通が集中しており、持続可能な交通サービスへの見直しを行うため、オンデマンド交通の実証運行を、11月28日（金）から12月27日（土）まで行いました。

地域拠点であるPLANT-3への移動を中心に、既存交通と比較して概ね利用者は多く、アンケートでは満足度において高い評価となりました。



▲出発の様子

政策 02 中心市街地① まちなかの充実した都市機能により、にぎわいと交流のあふれる心弾むまちをつくる

施策①県都にふさわしい魅力あるまちをつくる

福井駅西口の新複合ビル「マルノウチフクラ」オープン

まちなかに、ホテルやオフィス、住宅、商業等の都市機能を集め、持続的なにぎわい創出に繋げるため、民間による再開発事業を支援しました。

福井駅前電車通り北地区B街区「marunouchi FUKULA」が3月末に開業しました。

また、南通り地区ではホテルなどの建設が始まりました。



▲福井駅前電車通り北地区B街区「marunouchi FUKULA」

施策②にぎわいの創出のための仕掛け、仕組みをつくる

まちなかフェス 熱気最高潮！

10月11日（土）、12日（日）に、まちなかの3会場（ハピテラス、ハピリンホール、観光交流センター）で、「ダン☆スタ FUKUI 2025」を開催し、約6,000人の観客でにぎわいました。

また、県外から人を呼び込み、まちなかでの消費拡大につなげるため、9月6日（土）、7日（日）に、中央公園を会場に実施された都市型野外音楽フェス「ONE PARK FESTIVAL」の開催を支援しました。



▲ダン☆スタ FUKUI 2025



▲ONE PARK FESTIVAL

施策②（続き）

ふくいの秋、福井駅前に集合！

中心市街地のにぎわい創出を図るため、福井のお酒や食を味わいながら音楽やパフォーマンスを楽しむイベント「autumn fest（オータムフェスト）inハピテラス」を、9月20日（土）、21日（日）に開催しました。美酒と美食と“楽しい”がハピテラスに集まり、開催期間中は延べ6,000人が来場しました。



▲「autumn fest inハピテラス」の様子

施策③うるおいと個性あるまちをつくる

足羽川桜並木を次世代へ継承

足羽川の桜は植樹から70年以上が経過し、毎年のように倒木や枝折れがあります。

企業や個人からの寄付（令和7年度寄付額：37,714,888円）を活用し、衰退の始まった幹や枝を切除して、桜の負担を軽減する「強剪定」による長寿命化を実施しました。



▲強剪定作業

施策①強靱な社会基盤を構築する

足羽ポンプ場更新事業の着実な進捗

地域の浸水被害を大幅に軽減するため、令和10年度末（予定）の供用開始に向け、老朽化した足羽ポンプ場の更新を進めています。

事業は、新しいポンプ場を築造する建設工事と新しいポンプ場に雨水を送る管を布設する工事があり、進捗率※はポンプ場建設工事が51%、雨水増補幹線建設工事が43%と、いずれも順調に進捗しています。 ※令和8年3月末時点



▲足羽ポンプ場完成イメージ



▲ポンプ場建設工事（左）、雨水増補幹線内部

鹿江公園に掘込式調整池を整備

近年、集中豪雨が頻発化しており、市内各地で浸水被害が多発するなか、既存の公園等を活用して流出を抑制する調整池の整備を進めています。

8月末には木田地区において鹿江公園に掘込式調整池※の整備が完了しました。

※地上部を掘り下げて貯水空間を確保した調整池



▲鹿江公園調整池

施策①（続き）

「いのちを守ろう！」 木造住宅無料耐震事業・改修緊急事業

令和6年能登半島地震による市民の住宅耐震化の意識の高まりに対応するため、木造住宅の耐震診断等および耐震改修等を支援しました。

今年度は、200件の耐震診断等の補助申請および80件の耐震改修等の補助申請がありました。

今後も、広報紙や建築物防災パネル展の開催、出前講座や戸別訪問を活用し、木造住宅の耐震化に取り組んでいきます。



▲耐震改修工事 補強状況

施策②安全で快適な生活環境を保全する

「空き家等の適正な管理の促進に関する協定」締結

市内の空き家等の適正な管理の促進や発生抑制に相互に連携・協力して取り組んでいくため、10月9日（木）に福井市シルバー人材センターと「空き家等の適正管理の促進に関する協定」を締結しました。



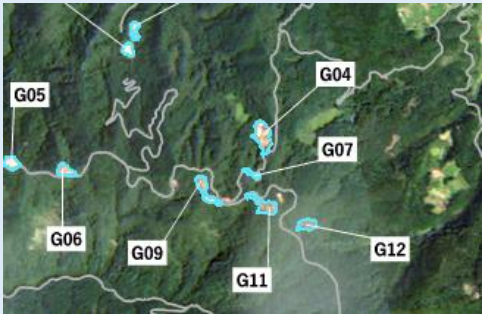
▲協定締結式の様子

施策②安全で快適な生活環境を保全する

県民衛星「すいせん」を活用し
新たに盛土の状況を効率的に監視

令和7年5月～7月にかけて衛星画像を活用し、
進行中の風力発電事業の造成地12箇所の盛土等
の申請内容と、提出された伐採届の施工範囲を
解析し、差異がないことを確認しました。

今後も衛星画像を活用して、現地確認が困難な
箇所に対して職場から盛土・伐採届等の申請内
容を確認し、市内の安全・安心の確保に努めて
いきます。



▲衛星画像の解析による盛土監視

施策③（続き）

下味見地区簡易水道統合事業の概成

美山地区の折立町、横越町、東河原町及び西河
原町の4町について、安全・安心な水道水の安
定供給を行うとともに、維持管理の効率化を図
ることを目的として、平成29年度より下味見地
区統合事業を進めてきました。

この度、西河原浄水場及び折立浄水場が完成し、
令和7年度末をもって、4町すべてに新浄水場か
ら給水を開始しました。



▲西河原浄水場（上）と折立浄水場

施策③安全で安心な上下水道のサービスを提供する

「福井市下水道事業経営戦略2026」策定

一足早く策定

将来にわたり下水道サービスの提供を安定的に
継続することを目的とした中長期的な経営の基
本計画である「福井市下水道事業経営戦略
2026」を策定しました。

近年の物価高騰等の社会経済情勢の変化を踏ま
え、次期経営戦略の策定を1年早め、新たな経
営戦略を策定したものです。



▲委員会での審議（上）と
上下水道事業管理者へ提言の様子



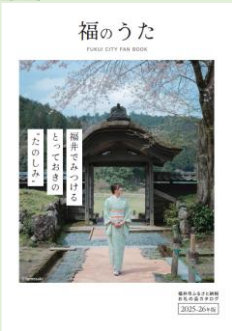
施策①福井とつながる人口の対流を創出する

ふるさと納税をきっかけとした
福井市ファンの拡大

新たなポータルサイトの追加や、事業者支援を含む返礼品の充実、全国への情報発信の強化等に取り組んだことで、昨年度の約1.6倍となる12億2,522万円の寄附が集まり、3年連続で過去最高額を更新しました。国内最大級のふるさと納税イベントへの出展や、寄附への感謝と本市の魅力を伝える冊子を新たに作成し、寄附者に届けることで、本市のファンづくりを進めました。



▲イベント出展の様子（神奈川）



▲新たに作成した冊子

施策②ライフステージに応じた人材還流を促進する

おためし移住で福井の生活をリアルに体験

本市の住みよさを実感し、移住へのハードルをやわらげることを目的に、主に都市部の移住検討者を対象に、移住関心度に応じたおためし移住体験を実施しました。

期間中には12組36人が参加し、こども園や小学校での生活体験、地域住民との交流、住まい探しなどを行い、移住や関係構築に向けた意欲の高まりが見られました。



▲体験入学を楽しむ参加者

施策③地域の資源を活かし、
安心して住み続けられる住環境をつくる

福井らしい住まい方を支援
・子育て世帯への支援を拡充

福井らしい住まい方である多世帯での同居・近居や空き家の利活用を推進するため、住宅取得費用やリフォーム費用等に対して44件の支援を行いました。

また、こどもが3人以上いる世帯に対して、住宅取得費用に対する補助額の加算を追加することで、子育て世帯への支援を拡充しました。



▲すまい支援事業のチラシ

施策④地域の活性化や地域コミュニティの維持に取り組む

大阪大学と共同制作！
ナッジ理論を活用した自治会加入促進ポスター

自治会加入率の向上を図るため、大阪大学と共同でナッジ理論※を活用したポスターやチラシを制作し、市内全ての自治会に配布しました。

スマートフォンやパソコンからいつでも簡単に加入申込みができるオンラインフォームを新たに作成し、ポスターやチラシにQRコードを掲載し周知を図りました。



※行動科学の知見により人々が自分や社会にとってより良い選択を自発的にとれるよう手助けする政策手法

施策①誰もが活躍できる社会の実現を図る

ハラスメントのない職場や社会づくりに向けた意識啓発

労働施策総合推進法の改正により、カスタマーハラスメントや求職者等に対するセクハラ防止措置が事業主の義務となることを受け、「福井市カスタマーハラスメント対策基本方針」を策定しました。

地域で最大の事業体である本市が、安心して働ける環境づくりへの基本姿勢を示すとともに、カスハラについて来庁者や職員に気づきを促す啓発ポスターを作成し、お互いに尊重できる社会づくりに努めました。



▲カスハラ防止啓発ポスター

施策②女性が輝きいきいきと暮らせる社会の実現を図る

「女性活躍優良事例発表会」の開催

10月8日（水）に県内企業の経営者や人事担当者を対象に、女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に積極的に取り組む企業2社の事例を紹介する「優良事例発表会」を開催しました。

多くの企業に取組を促し、誰もが安心して活躍できる企業の増加を図るため、後日、発表会の内容は福井市公式YouTubeで広く発信しました。



▲Teamsでの発表会の様子

施策③多文化共生のまちづくりと国際交流を推進する

フラトン市姉妹都市提携35周年記念
福井市行政訪問団の派遣

姉妹都市提携35周年を記念し、福井市行政訪問団に議会・市民の訪問団を加えた計20名が、11月に米国カリフォルニア州フラトン市を訪問しました。

フラトン市長への表敬、議場での記念式典などを通し、これまで交流を支えていただいた先人への感謝を共有し、今後の協力体制の継続についても確認しました。



▲フラトン市議場での記念式典

施策④ボランティアの力を高め
市民と行政が力を合わせる協働のまちづくりを進める

「あじさい花つみ」で
ボランティア参加のきっかけづくり

ボランティア活動をはじめのきっかけづくりとして、足羽山にて「あじさい花つみボランティア」イベントを7月21日（祝・月）と8月3日（日）に開催しました。

翌年きれいな花を咲かせるための花つみ（剪定）作業を、年齢や経験に関係なく誰でも気軽に楽しく体験でき、高校生や社会貢献に取り組む企業の方など、計57名の方が参加されました。



▲あじさい花つみの様子

施策①生活習慣病予防に取り組むなど
生涯にわたる健康づくりを支援する

スマホde健康ポイント
ふくいまちなかスタンプラリー2025

スマホde健康ポイントの一環として、まち歩きを楽しみ、健康増進を図ることを目的に、11月の1か月間、「ふくいまちなかスタンプラリー」を実施しました。

養浩館庭園など市内10か所を巡り、3か所以上でデジタルスタンプを集めた方を対象に、抽選で商品券を進呈しました。期間中は557人が参加し、81人が3か所以上のスタンプを集めました。



▲アプリ画面

施策②子どもが健やかに生まれ育つ環境をつくる

「ふくふくこうのとり支援事業」スタート！
中核市トップクラスの不妊治療助成を実施

こどもを望む方が安心して治療を受けられるよう、令和7年度から市独自の事業に取り組みました。経済的負担を軽減するため、特定不妊治療や不妊治療連絡カード作成にかかる費用の一部を助成したほか、精神的負担を軽減するため不育・不妊のこころの相談会を年4回実施し、不妊治療や助成に関する動画の作成・配信を行いました。



▲申請受付の様子

施策②（続き）

広がる！こどもの居場所 団体の活動を支援

地域でこどもの居場所づくりに取り組む団体を支援しました。19団体が38か所で食事の提供や体験活動、学習支援を実施し、こどもたちが安心して過ごせる地域の居場所の確保につなげました。



▲こども食堂実施の様子



施策②子どもが健やかに生まれ育つ環境をつくる

児童館プレイルームの空調設備 全館で整備完了

近年の記録的な猛暑を踏まえ、児童館でこどもたちが安全に安心して過ごせるよう、当初の計画を前倒して、未整備の児童館のプレイルーム（23館）に空調を整備しました。

すでに整備済みの児童館と合わせ、すべての児童館（29館）で空調が利用できる環境になりました。



▲児童館プレイルームの様子

施策③高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる環境をつくる

福井市版終活支援プロジェクト スタート！

身寄りのない高齢者が、住み慣れた地域で安心して最期を迎えられる社会を目指し、関係者を集めたワークショップを3回実施しました。葬儀会社や福祉関係団体、市職員など約60名が参加し、終活に関する支援策を検討しました。

また、1月17日（土）にショッピングシティ・ベルにおいて、普及啓発イベント「終活フェスタ」を開催しました。約30の企業や団体がブースや相談窓口を設置し、約250名が来場しました。



▲終活意見交換会の様子（左）と「終活フェスタ」案内チラシ

施策③（続き）

高齢者世帯への犯罪を防ぐ 住まいの防犯設備導入を支援

ひとり暮らし等の高齢者世帯の犯罪被害を防ぐため、録画機能付インターホンや防犯カメラなど、住まいの防犯対策にかかる費用を支援することで、高齢者の安全・安心の向上に繋がりました。

5月から補助申請の受付を開始し、273件の申請がありました。



▲防犯対策品
（録画希望付インターホン・防犯カメラ）

施策④障がいや難病等を抱える人が地域で安心して生活できるよう支援する

「^{てんぷ}天賦を、ひらく」
障がい者芸術文化祭開催！

共生社会の実現を目指し、芸術文化を通して、障がいのある人もない人も一堂に会し、交流する場として、10月25日（土）に初開催しました。ステージパフォーマンスや障がい者アートの展示、手話カフェ等のワークショップを行い、約2,500名が参加しました。手話通訳や要約筆記者の配置、高校生ボランティア約50名等の運営サポートにより、誰もが参加しやすく、共に創り上げ一緒に楽しめる場となりました。



▲ステージパフォーマンスの様子

施策⑤複雑化・複合化する支援ニーズを包括的に受け止める体制をつくる

複合的課題への対応力を強化

福祉総合相談室のアウトリーチ支援員※を1名増員し、地域包括支援センターと連携して複合的な課題を抱えるご家庭への同行訪問を行うなど、関係機関と連携して相談対応の強化を図りました。また、地域包括支援センターや障がい相談支援機関の職員などに対し、相談機能の強化を目的とした「包括的相談支援研修」を実施しました。

※支援が必要なのに届いていない人に対し、訪問での相談を行うなど積極的に働きかけ、必要な情報や支援を届ける専門職



▲研修の様子

施策⑥公衆衛生の向上や健康管理の強化に取り組む

带状疱疹の定期予防接種 スタート！

带状疱疹※やその合併症を予防するために、65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳以上の方を対象に予防接種を実施し、4,135人（令和7年度実施分）が接種しました。

※体の中に潜伏した「水痘带状疱疹ウイルス」が再活性化することにより、身体の左右どちらかに帯状に、時に痛みを伴う水痘が出現する病気



▲带状疱疹ワクチン定期予防接種（イメージ）



施策①環境負荷低減の取組を推進する

「プラごみ まとめ出し！」
分別方法の変更を効果的に周知

新ごみ処理施設の稼働に合わせてプラスチックごみの分別を変更※するにあたり、広報チラシ及び広報冊子の作成を行いました。

プラごみ分別方法を効果的に周知するため、デザイナーと連携し、統一したデザインによる広報周知を実施しました。

※令和 8 年 4 月～ 越廼・清水区域限定
福井・美山区域は令和 9 年度開始予定



▲プラごみ分別変更チラシ

施策②環境対策に積極的に取り組む企業を支援育成し、
公害や不法投棄のない快適な生活環境を守る

建設リサイクル法に関する一斉パトロールの実施

適正な分別解体や再資源化の実施の確保を図り、更なる実効性確保に向け、関係部局と連携し、毎年、一斉パトロールを行っています。

今年度は、101件（6月：44件、10月：57件）の建築物等の工事現場を確認しました。

今後も、現地パトロールによる指導・監督に取り組んでいきます。



▲パトロールのイメージ

施策③自然や都市環境を守り育て、未来に伝える

地域の自然資源を生かす市民団体の活動を支援

地域の豊かな自然や生息する多様な生き物を守り育て、将来に伝えるために市民団体等が行う「生き物の保護・再生活動事業」や「地域の自然資源を生かす事業」などの活動を支援し、地域の自然や都市環境の保護に努めました。

また、環境ボランティア登録者が累計で435人を超えるなど、自然保護活動の輪を広げることができました。



▲足羽山での竹林整備の様子

施策④市民、市民組織、事業者、行政が共に環境を考え、
共に行動できる人づくり・まちづくりを進める

環境について楽しく学ぼう！
イベント等を通して環境保全意識を向上

市民・市民組織・事業者・行政 で構成する「福井市環境推進会議」が中心となり、ハピテラスにて11月24日（祝・月）に「福井市環境フェア」を開催し、市民の環境保全意識の向上を図りました。

また、将来を担う若い世代を対象に環境講座を開催し、多くの市民に対して、環境に関する学びの場を提供しました。



▲福井市環境フェアの様子

施策①地域の防災力を高める

避難所となる小学校体育館への
空調設備設置工事 スタート！

安心して避難生活を送ることができる環境を整備するため、避難所となっている学校体育館に、停電の際にも使用できるLPガス空調設備の設置工事に着手しました。



▲空調設備（イメージ）

施策②火災等から人命と財産を守る

大阪市中心部雑居ビル火災に伴う
緊急特別査察

前年に比べ火災が多く発生している状況が続いたため、大阪市中心部雑居ビル火災と同様な建物について緊急特別査察を行いました。

火災の発生危険、延焼拡大危険及び人命危険の排除に努め、安全安心な福井市の実現に取り組みました。



▲特別査察の様子

施策③地域における防犯力を向上する

防犯隊への活動支援を通して地域の安全確保

地域住民によって組織された「福井市防犯隊」の活動を支援し、防犯パトロールの実施や防犯広報、少年非行防止活動などを通して、地域の安全確保に努めました。



▲防犯パトロールの様子

施策④安全安心な消費生活を支える

「消費者のつどい in 2025」 開催

知っておきたい消費生活情報や、くらしに役立つアイデアを提供するため「消費者のつどい in 2025」を10月19日（日）に開催し、81人が来場しました。



▲上方落語家による消費者啓発

施策⑤交通安全対策を推進する

運転免許自主返納支援ワンストップ窓口を開始

市内に住む高齢者が警察署等で運転免許を自主返納したとき、警察署等で同時に市の支援申請ができるワンストップ窓口を9月1日（月）から開始しました。昨年度同時期比約1.5倍増の445人が支援申請を行いました。



▲記者発表の様子

施策①スマート農業等新たな時代に対応した農業を推進する

スマート農機導入を支援！

水稻での規模拡大を目指す大規模農家や集落での営農継続を目指す中小規模農家に対し、自動操舵トラクターやGPS付田植機などのスマート農機の導入を5経営体に支援（補助対象事業費37,802千円）し、作業の効率化並びに生産性の向上を後押ししました。



▲自動操舵トラクター（上）と車載操作モニター

施策②ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする

魅力ある食材を首都圏や海外へPR

福井市食のPR大使のEXILE橘ケンチ氏を起用した在来種そばのPRポスター「ふくいとそば。The Poster」第3弾の制作に加え、首都圏等の飲食店で福井の食材を使ったフェアの開催（実施店舗 88店舗）や海外バイヤーが参加する国際的な商談会への参加など、魅力ある食のPRにつなげました。



▲「ふくいとそば。The Poster」第3弾

施策②（続き）

通年運行「ぐるバス」で福井の美味しいものの食べにいこっさ！

福井駅東口とふくい鮮いちば及びTRETAS（トレタス）を結ぶ「ぐるグル周遊バス」について、今年度から、土曜日を中心とした通年運行（運行日数 69日間*1日6便/乗降客数 2,248人*令和8年3月末現在）に切り替え、福井の農林水産物の認知度向上と販売拡大を図りました。



▲ラッピングを施したぐるグル周遊バス

農業×こども食堂
規格外野菜やお米を無償提供

市場に流通しない規格外野菜等を農業者からこども食堂に無償提供する事業をスタートさせ、フードロス削減や、運営費の負担軽減を図りました。市が両者のマッチングをサポートし、規格外野菜だけでなく、新米を含むお米の提供にもつながりました。



▲規格外野菜の受け渡しの様子

【参加者】農業者：21者 こども食堂：13団体
【提供実績】野菜：11品目 米：約1トン

施策③稼げる林業と水産業を推進する

稼げる林業と水産業の実現に向け
「第2次林業・水産業振興プラン」を策定

「稼げる林業と水産業」の実現に向け、次期5年間の林業・水産業分野の総合的な指針であり、アクションプランとなる「第2次福井市森林整備・林業成長産業化推進プラン」および「第2次福井市水産業振興プラン」を、林業・水産業関係者とともに、令和8年3月に策定しました。



▲プラン提言

施策④農地・農村の環境を守り活性化を図る

クマ等の捕獲、自治体の判断で銃使用可能！
「福井市緊急銃猟実施マニュアル」作成

鳥獣保護管理法が改正され、人の日常生活圏にクマ等が出没した際に、市長権限による銃器を使用した捕獲が可能となりました。

実施にあたり、安全確保等の措置など要件が定められていることや関係機関との連携が必要であることから、「福井市緊急銃猟実施マニュアル」を令和7年11月に作成し、市民の安全安心の確保に向け、運用を行っています。



▲緊急銃猟訓練（県）



施策①地域の商工業を振興する

嶺北連携中枢都市圏内の食を首都圏等でPR！

北陸新幹線福井開業や大阪・関西万博に合わせ、本市の加工品をはじめとする特産品の広く発信する「物産展」や期間限定の「アンテナショップ」を首都圏の百貨店、オフィスビル等のほか、大阪府の商業施設でも開催し、延べ20日で、18,800人の来場がありました。

会場では、羽二重餅やそば、油揚げ、海産物加工品など、特産品のPR販売等を行いました。



▲アルデ新大阪でのアンテナショップ

福井インターチェンジ付近に
新たな県営産業団地を整備

令和9年度の方譲開始を目指し、福井インターチェンジ付近で整備面積約20haの新たな産業団地の整備を進めています。

この用地取得のため、地権者等の関係者に対して、説明会や個別説明を実施し、全ての地権者から同意を得ることができ、また、他の公共工事の残土受入れも始まりました。



▲県営産業団地位置図

施策②創業や事業承継を促進する

「情熱をカタチに。」
福井発！ビジネスプランコンテスト2025 開催

福井をはじめとする地域活性化、経済活性化につながる新事業の創出や地方ならではの新たなビジネスの発掘を促進するため、新規性・独創性に富んだビジネスプランを幅広く募集し、コンテストを開催しました。

2月7日（土）の最終選考会では、応募総数65件のプランのうち、一次審査を通過した8プランからグランプリ賞などを決定しました。



▲福井発！ビジネスプランコンテスト
最終選考会

施策③地元で働く魅力を発信する

未来を拓く若者の奨学金返還を支援

地元雇用を促進し人材確保につなげるため、市内中小企業に就職した若者の奨学金返還支援の受付を令和6年度から開始しました。

令和7年度は新たに30件を認定し、認定件数は計42件となりました。また、認定した人に対しての返還支援も開始しており、計12件の支払いを行いました。



▲未来を拓く奨学金返還支援事業

施策④多様な人々が活躍できる雇用環境を推進する

特別支援学校生の作品を展示・販売
「ふくい障がい者ワークフェア2025」開催

障がい者雇用への理解を広げ、雇用を支援するため、県内関係機関と連携し、「ふくい障がい者ワークフェア2025」を9月23日（祝・火）に開催しました。

イベントでは県内の特別支援学校など7校が参加し、生徒の作品販売やパネル展示などを行い、約2,100人が来場しました。



▲当日の様子

福井商工会議所×福井市
「人的資本経営推進に関する包括連携協定」を締結

2月3日（火）に福井商工会議所と「人的資本経営推進に関する包括連携協定」を締結しました。官民が一体となってワーク・ライフ・バランスなど「人を大切にする経営」を推進することで、誰もが安心して活躍できる「楽しい」「安心」「元気」なふくいを目指します。



▲締結式の様子



施策①観光資源を磨き上げる

新感覚の観光体験！越前海岸の魅力が詰まった「海めぐりガチャ」設置

福井市中心部から越前海岸エリアへの誘客および同エリアでの周遊性を高めるため、越前海岸の魅力が詰まったガチャを市内3か所に設置し、“偶発的な出会い”という仕掛けを作ることで、「地域」と「観光客」を繋ぐ新しい観光の形を創出しました。当初の想定を大きく上回る約750人の方に越前海岸の魅力を届けることができました。



▲海めぐりガチャ

チャレンジ
みらい予算

施策②（続き）

外国人目線でのインバウンドプロモーション

「“地方 × インバウンド※”地域活性化協定」の提携先である訪日観光情報サイト最大手の「japan-guide.com」において、2月に「Favorite spots in Fukui」（福井のお気に入りの場所）を公開。外国人に特に福井でおすすめしたいスポットなど5選を紹介しています。公開直後から多くの好意的なコメントが寄せられ、着実に誘客へとつながっています。

※訪日外国人旅行者



▲プロモーション動画

施策②誘客プロモーションを強化する

「福いいネ！」を活用した首都圏等への効果的な情報発信

北陸新幹線開業効果の継続に向けて、地域活性化連携協定を結ぶ株式会社LDH JAPANと連携し、首都圏での同社運営の飲食店で「福いいネ！ランチフェア」を開催したほか、インフルエンサーによるSNSでの福井情報発信、首都圏における出向宣伝等を行いました。



▲首都圏での出向宣伝

施策③おもてなしの充実を図る

スキルアップ向上を目的とした観光おもてなしマイスター塾を開催

観光おもてなしマイスターを対象に、スキルアップ向上を目的とした研修を7月に開催し、16名のマイスターが参加しました。講師がスクリーンに映し出した「日常のワンシーン画像」を見て感じ取ったことを各々発表し、他者の気づきを共有し合い、議論を重ねることで、自身のおもてなし力の磨き上げを図りました。



▲観光おもてなしマイスター塾

施策①市民の心を豊かに育む文化芸術を振興する

日本の伝統文化を楽しもう！

4月26日（土）、27日（日）に、養浩館庭園及び国際交流会館を会場に、三味線や日本舞踊、いけばな、お茶席など多様な日本文化を体験、鑑賞できるイベント「日本文化を楽しむ会」を開催し、多くの親子づれの市民や観光客に楽しんでいただきました。

また、10月25日（土）にはライトアップイベントも開催し、3日間で延べ893人の方に来場いただきました。



▲イベント案内チラシ

「光と遊ぶ体験型ミュージアム」
体感型の映像作品を展示した企画展が大盛況

美術館では、版画、近代西洋美術、現代美術など多彩な企画展を開催しました。

特に、7月19日（土）～8月31日（日）に開催した『魔法の美術館 2025』では、来場者が3万8千人を超えるなど、多くの市民に美術を楽しむ機会を提供しました。



▲魔法の美術館2025

施策②歴史や文化遺産を保存・継承し活用する

城下町福井のルーツを探る
「福井・北庄築城450年」記念事業 開催

5月17日（土）～7月6日（日）に特別展「越前北庄の城と城下」を開催し、城下町福井の起源となった北庄城とその城下町について、重要文化財の古文書をはじめ43件の貴重な資料を展示しながら紹介しました。会期中の観覧者数4,289名を集め、城下町福井のルーツに関心が高まりました。

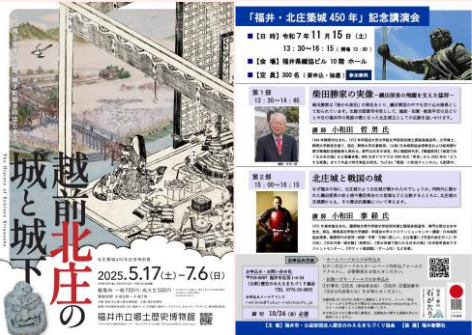
また、11月15日（土）には静岡大学名誉教授の小和田哲男氏らを招いて、柴田勝家の人物像や北庄城に関する記念講演を開催し、市内外から300人もの方が来場されました。

370年の祈りを未来へ
「令和の大修理」 大安禅寺 本堂の修理が完了

平成30年度から令和13年度までの計画で保存修理が進められている大安寺において、国の重要文化財である本堂の修理が完了しました。

解体調査や資料を基に、瓦葺きの屋根を茅葺きを模した銅板葺きと、こけら葺きの2層構造に葺き直す等、元の状態に近い形に修理しました。

今後も修理が予定されており、引き続き国や県と支援を行っていきます。



▲特別展ポスター（左）と
記念講演会案内チラシ



▲修理後の重要文化財 大安寺本堂 23

施策③自然科学教育で創造性豊かな子どもを育む

博物館ボランティアに感謝状贈呈
& こども達が足羽山の恵まれた環境を再確認

8月に博物館分館のドームシアターで「eスポーツ交流大会」開催され、定員の150人を超えた290人の親子連れが来館されました。また、開催に先立ち、市長から博物館ボランティアに初の感謝状が贈呈されました。

博物館の足羽山総合調査では、笏谷石採石場跡地の坑道内で新種の生物が発見され、足羽山の自然環境の豊かさが、生物多様性の面で効果的に働いていることが再確認されました。また、3月には博物館で記者発表が行われ、子どもたちが郷土の自然に興味をもつ大きなきっかけとなりました。



▲感謝状贈呈（上）と
新種の生物を観察する子どもたちの様子



施策①子どもの生きる力を伸ばす学校教育を充実する

キャリア教育を”もっと”充実

子どもたちの「生きる力」を育むため、学習内容と地域企業の人づくり・ものづくりを結びつけたキャリア教育プログラムを、令和7年度は新たに7プログラムを追加し、全49プログラムを提供しました。その結果、福井市キャリア教育コーディネーターの支援により、目標学級数を大きく上回る456学級でキャリア教育※を実施することができました。

※社会的・職業的自立に必要な能力や態度を育てる教育



▲おしごと探検隊
アントレ・キッズ



▲手作りみそ教室

施策②子どもの健康増進を図る

ふるさと福井への愛着を深める
「地場産プラスワン給食」実施

地場産食材を活用したおかずやデザートを用意する「地場産プラスワン給食」を、9月～2月に月1回、計6回実施しました。

あわせて、地場産食材を教材として、児童生徒に対し、地域の自然、歴史、文化、伝統行事、産業を学ぶ「食育」を実施し、ふるさと福井への愛着を深める機会を提供しました。



▲地場産プラスワン給食

施策③子どもの安全を守り、健全な育成を図る

休日部活動廃止に向け情報発信や体制整備を推進

令和8年度の休日部活動廃止に向けて、多様なモデル事業による効果検証や保護者向け説明会の実施、特設ホームページの開設、学校施設の地域クラブへの優先貸し出しなど体制整備を進めました。

今後は廃止後の検証を行うとともに、家庭・学校・地域と連携し、中学生が主体的に地域クラブ活動に参加できるよう取り組んでいきます。



▲科学クラブ活動の様子

施策④学びの場としての学校環境を整備する

九頭竜中学校・美山小学校開校に向け
住民らと準備着々

地域住民等と協議しながら学校規模の適正化に取り組み、令和8年4月の「九頭竜中学校」及び「美山小学校」の開校に向けた準備を進めました。

令和7年度は開校に向け、新学校の校章、校歌、制服等を決定するとともに、児童生徒の登下校時の安全対策や統合校の交流事業、所要の施設整備、備品移設等を行いました。



▲九頭竜中学校
竣工式の様子



▲美山地区3小学校
交流会の様子

施策①市民の生涯学習を支援する

チラムネ×中央公民館 等
ふくい嶺北中枢都市圏の住民を対象に公開講座

生涯学習機会の充実を図るため、ふくい嶺北連携中枢都市圏域の住民を対象に、公開講座を2回開催しました。8月30日（土）は「豊かなコミュニケーションのために」と題し、森本茂樹氏（福井放送アナウンサー）を講師に迎え、113名が参加しました。11月29日（土）は「『チラムネ』と福井 物語の力が広げる魅力」と題し、作家の裕夢 氏を迎え、103名が参加しました。



▲『チラムネ』作家 裕夢さん（右）とナビゲータ 大川はるなさんとのトークセッション

施策②（続き）

かける思い、サクラサク。
「ふくい桜マラソン2026」開催

第3回目となる「ふくい桜マラソン2026」を3月29日（日）に開催しました。天候にも恵まれ、県内外・海外から参加いただいた、過去最多となる14,131名のランナーが、待ちわびた桜の開花とともに福井のまちを颯爽と駆け抜けました。



▲ふくい桜マラソン2026の様子

施策②市民の生涯スポーツを支援する

サポーター×ブースター
＝ヒートアップ！フクイ！！

スポーツを軸に地域の活性化と交流人口の拡大を図るため、トップスポーツチームと連携したイベントを開催しました。5月に「福井ブローウィングスパブリックビューイング in ハピテラス」、9月には「福井ユナイテッドFC 福井市ホームタウンデー」を開催するなど、様々な取組を進め、スポーツを「する」だけでなく、「みる」「ささえる」文化の醸成とともに、にぎわいの創出につなげました。



▲福井ブローウィングスパブリックビューイングin ハピテラスの様子

世界パラ陸上男子100m 金メダル
川上選手に福井市スポーツ賞を授与

ニューデリー2025世界パラ陸上競技選手権大会において、川上秀太選手が見事金メダルを獲得しました。その輝かしい栄誉を称え、12月11日（木）に福井市スポーツ賞を授与しました。

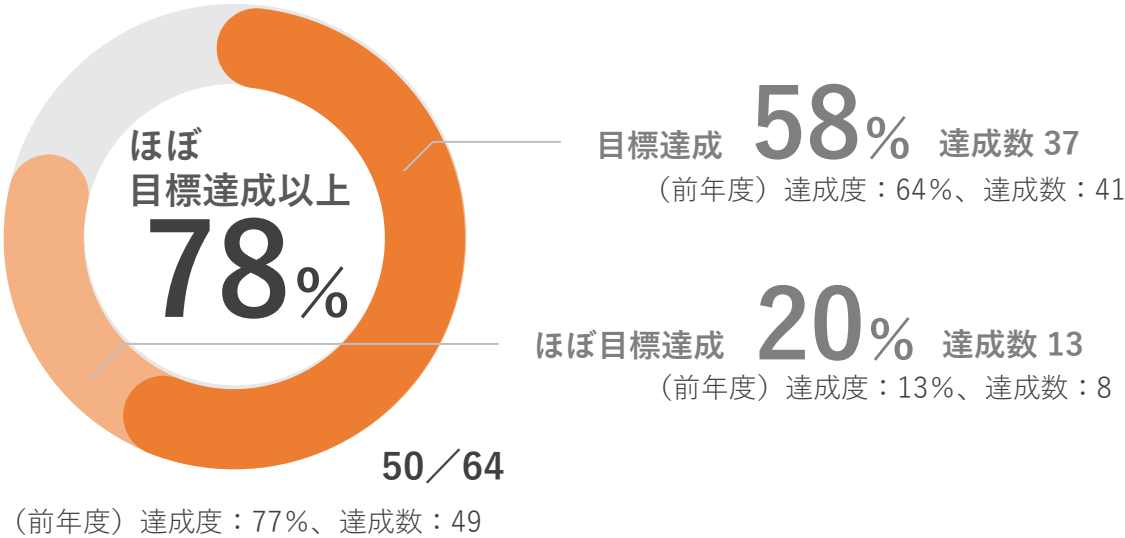


▲川上選手への授与の様子

数値目標の達成状況

総合計画では64の数値目標(KPI)を設定し、その達成状況を通して総合計画の進行管理を行っています。

【全体】



ほぼ目標達成以上の主なKPI

- 空き家情報バンク登録件数（累計）
- 保育園等の待機児童数
- 小中学校特別教室の空調設備整備率 など50項目

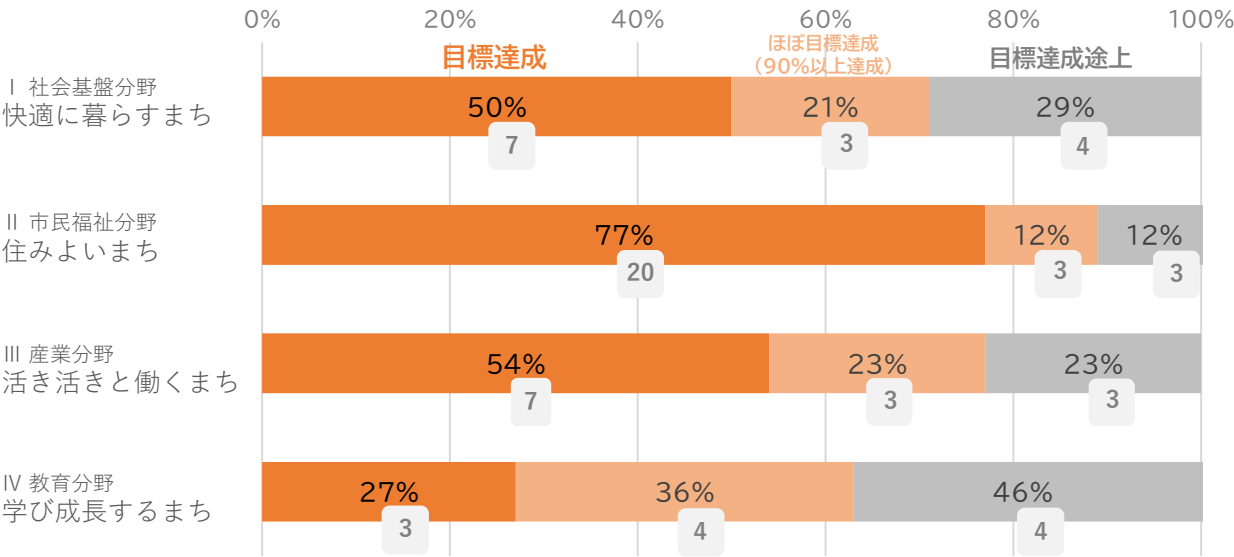
目標達成途上となった主なKPI

- ハピリン入込客数
- 交通事故重傷者数
- 公民館利用者数 など14項目

【分野別】

分野	目標達成数	ほぼ目標達成数	KPI設定数
I 社会基盤分野 快適に暮らすまち	7	3	14
II 市民福祉分野 住みよいまち	20	3	26
III 産業分野 生き活きと働くまち	7	3	13
IV 教育分野 学び成長するまち	3	4	11
計	37	13	64

■KPI達成度グラフ

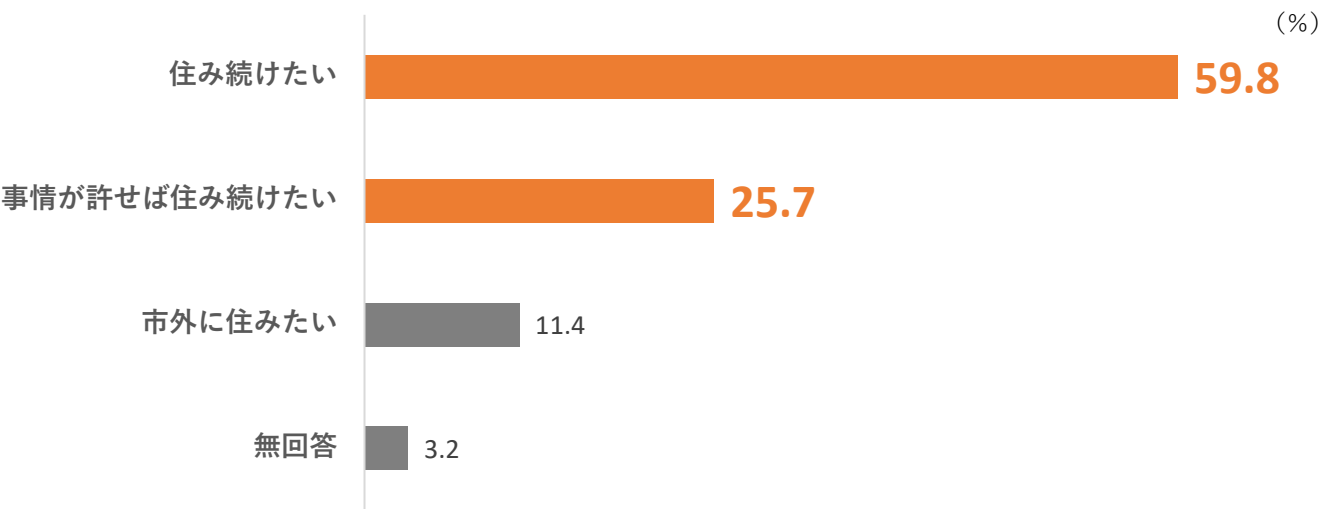


市民アンケート結果（令和7年度福井市民意識調査）

Q 福井市にこれからも住み続けたいと思いますか。

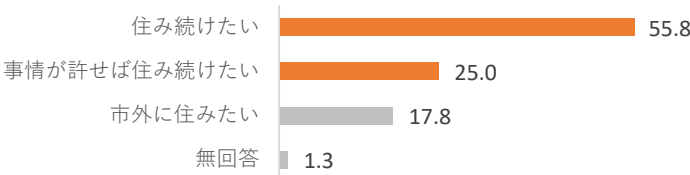
調査時期：令和7年5月27日～6月23日
調査対象：市内に居住する18歳以上の男女2,500人
回答率：40.3%（1,007票）

【全体】



福井市に「住み続けたい」
割合が **8割以上**

【参考】令和6年度ふくeアンケート



出典：令和6年度ふくeアンケート報告書

【年代別】

住み続けたい	年代	市外に住みたい
77.6%	18～29歳	20.9%
80.0%	30～39歳	18.8%
79.1%	40～49歳	18.9%
84.3%	50～59歳	12.3%
89.3%	60～69歳	8.2%
91.4%	70歳以上	4.3%

若者世代では
「市外に住みたい」が多い

高齢世代では
「住み続けたい」が多い

(参考) 令和7年度プレイバック

将来都市像の実現に向けて、様々な取組やイベントを実施しました。

4月	- 福井市・水原市 友好都市提携25周年記念水原市訪問団が来福 - ふくい桜まつりパレードに約8万人が来場 - ふくい観光案内所が「iFデザインアワード2025」を受賞 - 国指定重要無形民俗文化財「糸崎の仏舞」奉納	10月	- 福井アリーナ（仮称）整備推進等プロジェクトチームを設置 - 第4回「昭和100年」関連施策関係府省連絡会議にて福井市長が取組発表 - シルバー人材センターと「空き家等の適正な管理の促進に関する協定」を締結 - 中核市サミット2025in福井を開催
5月	- 越廼漁協が養殖した「こしのさくらます」を出荷 - 市内農業者のもとで農作業を体験する「師匠に入門！ちびっと就農」を開催 「全国連携マルシェin TAKANAWA GATEWAY CITY」に出展 - デザイン思考を活用した福井駅周辺での自転車押し歩き等マナー啓発活動	11月	- ふるさと納税イベント「第11回ふるさとチョイス大感謝祭」に初参加 - 福井市・フラトン市姉妹都市提携35周年記念福井市行政訪問団を派遣 - 第1回美山地区登下校シミュレーションを実施 - 福井市南西地区オンデマンド交通実証運行を開始
6月	- 市庁舎地下食堂リニューアルオープン - クリエイティブプロジェクト「福井市Z世代クリエイター」委嘱式を開催 - 関係事業者等を交えたワークショップ「終活意見交換会」の第1回を開催 - ショッピングセンター「パリオCITY」にふくチャリを設置	12月	- 福井駅周辺の夜を楽しむ「ふくい宵さんぽ〜光と出会うまち歩き〜」開催 - 川上秀太選手に福井市スポーツ賞を授与 - 東京都港区赤坂サウナ店火災に伴う福井市消防局による特別査察を実施 - こども食堂へのお米寄附者に対し感謝状を贈呈
7月	- 福井米購入応援「まんぷく券」第1弾を配付 - 第1回九頭竜中学校登校シミュレーションを実施 - 次期総合計画策定に向けた「福井市総合計画審議会第1回全体会」開催 - 福井駅周辺学生“どまんなか”プロジェクト第1回会議を開催	1月	- 第九次福井市総合計画 答申 - 第31回熊本市・福井市姉妹都市青少年交流事業を実施 - 福井アリーナ（仮称）事業周知のための公民館巡回パネル展示を実施 - YouTuberカズさんと西行市長が初コラボした冬の越前海岸PR動画を公開
8月	- 第1回 福井市いじめ問題対策連絡協議会を開催 - 本瑞寺と湊1区・3区自治会連合会が災害時における協力に関する協定を締結 - 美山・越廼・清水連絡所において遠隔窓口を試行運用 - 大阪市中心区雑居ビル火災に伴い福井市消防局が特別査察を実施	2月	- 福井商工会議所と人的資本経営推進に関する包括連携協定を締結 - 福井市社会福祉協議会と市ふれあい公社が統合に向けた事業譲渡契約を締結 - 内閣府へ福井アリーナ（仮称）等の整備支援に関する要望を実施 - クリエイティブプロジェクト成果発表会を開催
9月	- 福井ユナイテッドFC サッカーフェス「福井市ホームタウンデー」開催 - スロベニア共和国クラン市と姉妹都市協定を締結 「にほんの夏フェス2025（品川インターシティ）」北陸ナイトに初出展 「ふくい障がい者ワークフェア2025」を開催	3月	- 本市を舞台にしたアニメのメインキャストが登壇した「チラムネFES」が開催 - 自然史博物館が新種のトビムシ「アスワホラトゲトビムシ」発見を発表 - 森田・河合地区を校区に開校する「九頭竜中学校」の竣工式を開催 - 第3回となる「ふくい桜マラソン2026」を開催し14,131人が参加